



パッケージエアコンディショナのエネルギー消費特性に関する 『試験』および『任意評定』に関する業務開始のお知らせ

2025年2月25日
一般財団法人ベターリビング

(一財)ベターリビングは、パッケージエアコンディショナ(空冷式)のエネルギー消費特性に関するガイドラインの制定を受けて、エネルギー消費特性に関する試験および当該試験結果を用いた任意評定を開始いたします。

いずれも、ガイドラインの公表後(2月17日)より申請を受け付けております。

【ガイドラインについて】

パッケージエアコンディショナ(空冷式)のエネルギー消費特性に関するガイドラインが2025年1月8日に制定され、2月17日付で一般社団法人住宅性能評価・表示協会より公表されました。

このガイドラインは、国立研究開発法人建築研究所が公開している非住宅建築物に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム(以下、ウェブプログラム)において、先進のパッケージエアコン機器固有の優れた消費エネルギー特性を反映し、適切な機器選定の一助とすることを目的に定められました。具体的には、使用状況における省エネ制御等を反映した試験である『実働負荷試験』を実施し、その試験結果からパッケージエアコンの消費エネルギー部分負荷特性を評定する方法が定められています。

参考リンク

ガイドライン：https://www.hyoukakyukai.or.jp/nini_hyoutei/index.html

ウェブプログラム：<https://building.app.lowenergy.jp/>

【試験業務および評定業務】

ベターリビングつくば建築試験研究センター(以下、TBTL)では、最新の設備を活用して『実働負荷試験』を実施します。またベターリビング住宅・建築評価センター 認定・評価部では、『実働負荷試験』の結果に基づき、消費エネルギー特性を適切に評定します。

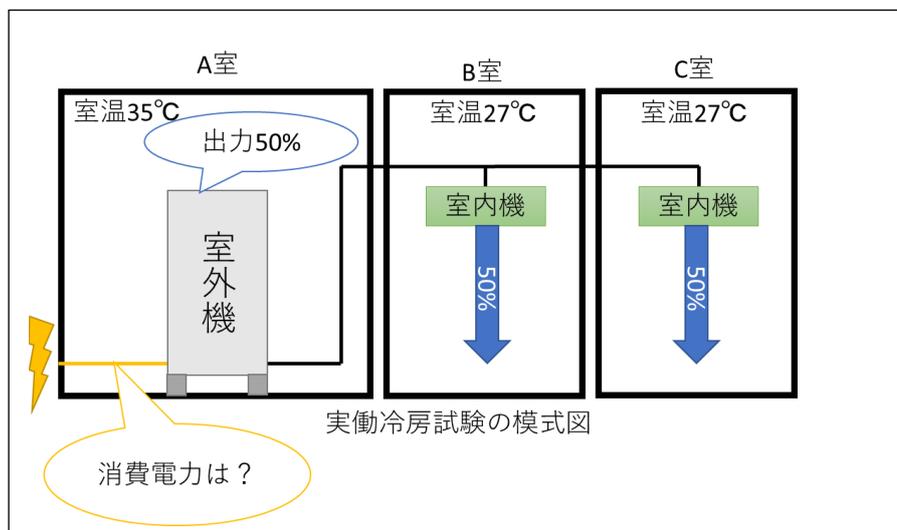
ベターリビングでは試験と任意評定の2業務にあわせて対応いたします。

現在、パッケージエアコンの部分負荷特性は全機種共通のものが使用されておりますが、これは2010年頃のデータを基にしたものであり、最近の省エネ性能の向上した機種の性能とは乖離があることが指摘されてきました。また、既存のJIS B 8615-3「エアコンディショナ 第3部：マルチ形エア

コンディショナ及び 空気対空気ヒートポンプ 定格性能及び運転性能試験方法に規定されるパッケージエアコンの試験方法」中の試験方法は、圧縮機回転数等の内部機器動作状態を固定した状態での試験となっており、その試験結果は実際に建築物に設置された状態でのエネルギー消費特性と乖離があることが指摘されていました。

『実働負荷試験』は、実建物での使用状況を反映した試験であり、より実用的なデータが得られます。本試験は、2023年にTBTLが整備した最新鋭の三室型恒温恒湿試験装置を用いて実施します。

『評定』は、実働負荷試験結果をもとに、有識者による審査により機種固有の性能曲線を決定するものです。この評定結果をもって、ウェブプログラムに機種固有の性能を入力することができるようになります。



ベターリビングでは、この試験・任意評定業務を通じて、省エネルギー性能の優れたパッケージエアコンを適切に評価し、建築物の省エネルギー性能向上に貢献することを目指しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆試験に関するお問い合わせ

つくば建築試験研究センター 性能試験研究部（担当：菅・黒鳥）

TEL：029-864-1745 mail：info-tbtl@tbtl.org

◆評定に関するお問い合わせ

住宅・建築評価センター 認定・評価部（担当：高山・南雲）

TEL：03-5211-0591 mail：info-ene@cbl.or.jp